

兵庫県立津名高等学校

同窓会阪神支部報

第16号
発行所神戸市灘区鶴甲 2-11-4-402
小久保澄夫 内
津名高校同窓会阪神支部
TEL & FAX
(078) 842-0425
印刷所：共栄印刷株式会社
TEL (078) 341-0316

創立九〇周年募金のお礼と東京支部活動への協力について

支部長
小久保 澄夫
(高十三回生)

今年も暑い夏がやってきました。阪神支部会員の皆様にはお変わりもございません。いづれも支部活動に、御理解、御協力をいただき、心よりお礼申しあげます。

去る三月十一日に起こった東日本大震災によって被災された皆様には心よりのお見舞いを申しあげます。阪神間に住む我々も一六年前の阪神淡路大震災については決して忘れられぬものではあります。同窓会名簿により八名(その内宮城県は一四名、関東地方に四五十名、北海道に二二名、そして長野・新潟両県に十四名の方々がおいになりなっております。それらの皆様の様子はわかりませんが、直接、間接の被害影響が多々あった事でしよう。元の生活に戻るには長い時間がかかるかと思いますが、どうぞお体に気を付けて、前へ前へと進み下さい。

卒業年次一桁の方々も徐々に引退され、我々二桁以後の者達が、その後を引き継いでいくこととなります。しかし年代が若くなるにつれ、同窓会への関心度も薄れがちで、どのようにその将来像を描いて発展させていくか非常に難しいところです。

今後、お互いに力を合せて交流を図り、母国を越える募金をして頂き無事発行できました。暑さもこれからが本番です。また今年は節電が求められております。どうぞ皆様お体に充分気を付けてこの夏を乗り越えられますようにお祈りいたします。

休みの年になつていきます。そこで、阪神支部報の中で、東京支部の記事を特集し、その活動を側面から応援する事としました。それらの地域にお住いの方々に東京支部の活動が周知されれば、さいいいのです。

御挨拶

同窓会長
薄 木 昌 信
(高七回生)

盛夏の候、阪神支部、東京支部の会員の皆さんにおかれましては、益々御健康のことと存じます。日頃は母校津名高校の発展のために何かと御尽力、御協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

阪神支部報も今年で第一六号を迎えることになりました。現下、おかげさまで、阪神支部も来年は創立四十周年を迎えることとなります。当初より運営に貢献されてこられた

方、御尽力により、今年も無事に発行することができ、私は同窓会長として関係各位の皆さん方に敬意を表すると共に、厚くお礼申し上げます。

母校津名高校と同窓会は昨年創立九〇周年を迎え、平成二二年一月一日の日に、「しづかホール」において創立九〇周年記念式典を挙行いたしました。この九〇周年記念事業に際しまして、同窓会本部と阪神支部を含む各支部の役員の方をはじめ会員の皆さん方の御支援、御協力により、同窓会としては、予定していた金四〇〇万円を越える募金をして頂き無事発行できました。暑さもこれからが本番です。また今年は節電が求められております。どうぞ皆様お体に充分気を付けてこの夏を乗り越えられますようにお祈りいたします。

この度の東日本大震災で被災されました皆さまに、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。一六年前の阪神・淡路大震災の折には、全国から多くのご支援を頂きまして、ありがとうございます。今後は、そのご恩返しを機会とらえ、本年度本校が主催する、全ての行事に、義援金を募っています。

生徒会は、すでに一〇回近淡路市各地に神戸でチャリティコンサートを開催する等、自分たちでできる支援を続けています。また、平素は本校教育活動にご支援をいただき厚くお礼申し上げます。とりわけ、昨秋

誠に喜びに堪えませんが、九年后には、いよいよ創立一〇〇周年を迎えることとなります。これからは、この九十年の状況を見て、私も大変感動した次第です。東京支部の今後の御活動の程を願っています。

最後に、私たちの母校津名高校が平成一八年四月に新校舎が完成し、同年二月には待望の同窓会館「エンジ会館」が完成し、そして昨年九〇周年記念を迎え、母校津名高校が益々発展してきており、

九〇周年記念事業のお礼

兵庫県立津名高等学校長
不動 亨

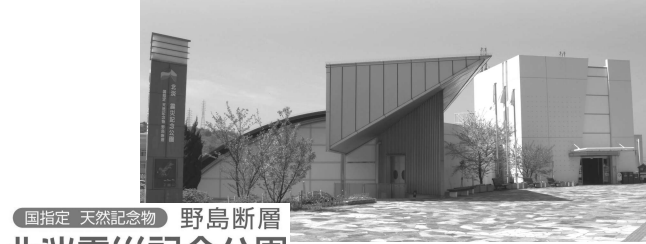
誠に喜びに堪えませんが、九年后には、いよいよ創立一〇〇周年を迎えることとなります。これからは、この九十年の状況を見て、私も大変感動した次第です。東京支部の今後の御活動の程を願っています。

最後に、私たちの母校津名高校が平成一八年四月に新校舎が完成し、同年二月には待望の同窓会館「エンジ会館」が完成し、そして昨年九〇周年記念を迎え、母校津名高校が益々発展してきており、

誠に喜びに堪えませんが、九年后には、いよいよ創立一〇〇周年を迎えることとなります。これからは、この九十年の状況を見て、私も大変感動した次第です。東京支部の今後の御活動の程を願っています。

最後に、私たちの母校津名高校が平成一八年四月に新校舎が完成し、同年二月には待望の同窓会館「エンジ会館」が完成し、そして昨年九〇周年記念を迎え、母校津名高校が益々発展してきており、

震災を語り伝え未来に活かす！

国指定 天然記念物 野島断層
北淡震災記念公園
http://www.nojima-danso.co.jp

656-1736 兵庫県淡路市小倉 177 TEL.0799-82-3020 FAX.0799-82-3027



岡川田尾都志子(高二十五回生)

京呉服
えびすがわ
夷川しめだ
お客様の好みのお着物を
一点一点、丁寧にお誂え致します。
あなただけの世界に一つしかない
お着物を：
〒604-0093
京都市中京区夷川通新町角
075-221-8139

あわじ環境未来島を

目指して

兵庫県淡路県民局

課長補佐(企画担当)

石上 清

(高二十六回生)

はじめに、東日本大震災の被災者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。

さて、いま、地方は、歯止めのかからない人口減少・経済縮小に苦しんでいます。淡路島も例外ではありません。

日本全体をみて、将来に明るい展望を持てず、長い間、閉塞感に包まれています。

淡路島の歴史

では、なぜ淡路島なのか。まず、淡路島の歴史から考えてみたいと思います。

淡路島は、『古事記』では、「天」と地が初めて分かれたとき、天は高天原とよばれて、そこに神々があらわれた。男神のイザナキの命と女神のイザナミの命が結ばれて、8つの島々が生まれました。これが淡路島、四国、隠岐の島、九州、奄岐の島、対馬、佐渡の島、本州で、「大八島国」とよばれる。『自由社「新編新しい歴史教科書」から抜粋、これが、日本国の誕生です。そして、その最初に創られたのが、淡路島です。

たことなどから食料の供給基地としての役割を担ってきたのです。とくに江戸時代、農業生産力は飛躍的に増大しました。

明治・大正時代には、農業技術の近代化とともに、灌漑、肥料による米麦の改良、野菜、果物などの商品作物の栽培、酪農・畜産の振興が進みました。玉葱の栽培が始まったのもこの時期です。びわの栽培も明治三〇年代、北淡、南淡で始まっています。昭和になると、津名・東浦で花卉栽培が盛んになりました。

環境立島

「公園島淡路」

あわじ環境未来島構想の三つの柱

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

淡路島には、先人が残してくれた素晴らしい自然や生産がありま。そして、その自然は人間の営みとともに成り立ってきた自然です。淡路島だからこそ、私たちは、人間と人間の関係を再構築し、淡路島の魅力を最大限に引き出すことを目指します。

薄木総合法律事務所

弁護士 薄木 昌信 (高七回生)

弁護士 薄木 英二郎 (高七回生)

弁護士 薄木 史 (高七回生)

弁護士 髭野 淳平 (高七回生)

事務所 大阪府大阪市北区西天満四丁目六番二号

TEL 大阪 〇六 (六三六五) 五五二番

FAX 大阪 〇六 (六三六五) 八二四二番

日本行政書士会連合会相談役

(社) 大阪淡友会理事

関西大学校友会代議員

筆谷 正 (高三回生)

事務所 西宮市中前田町一丁目二五

TEL 〇七九八 二一四七二六

坂東洋治 (高六回生)

〒654 神戸市北区鈴蘭台西四丁目一番九号

TEL 〇七七八 五九三二四五二

尾崎 田鶴子 (高六回生)

〒660 摂津市千里丘四一三二二七

TEL 〇六六三 八四一四七〇七

オキタ務経営事務所

社会保険労務士 沖 正典 (高九回生)

〒657 神戸市垂水区上高九二丁目一〇二四〇五

TEL/FAX 〇七七八 一七〇一三六六一

柴生 進 (高十回生)

〒666 川西市美園町七一四

TEL 〇六六六 〇〇〇〇〇〇〇〇

山あいの里に
行列のできるそば屋さん田村 伊久男
(高十七回生)

本年四月、北淡路の山あいの里、淡路市生田に「そばカフェ生田村」がオープンしました。

「そばカフェ生田村」は生田地域住民の皆さんで構成する「生田地域活性化協議会（近藤千萬彦会長）」が廃園になった旧生田保育園を、淡路市から借り受け、兵庫県の県民交流広場事業の助成を受けて地域の交流拠点（生田村交流ひろば）として整備したものです。

「生田村」は地域住民の皆さんのふれあい喫茶や映画会、環境学習の場などコミュニケーションの場としての活動とともに、地域で栽培しているそばを「手打ち」して販売しているのが特徴です。その風味のよさは関係者からも高く評価いただいています。そばの製粉もそば打ちもお客様

の来られる直前に、「挽きたて」「打ちたて」「ゆでたて」にこだわった営業方針をとっています。

「うどん文化」の関西で、そばがどこまで市民権を得られるの不安も大きいものがありました。お越しになった皆様からは「そばがこんなにも旨いものとは知らなかった」と好評で、リピーターも多く土日祝日の営業日の昼

前後にはたくさんの方がみえ行列ができます。一時間ぐらいたったところで食べたいだけ

では四年余り前からこの事業を活用して「地域づくり」の取り組みが進められてきました。と言いますのも、事業の中で景観形成という課題があり、いろいろ意見を出し合い悩んだ結果、「二面にそばの花が咲けば純白のじゅうたんのように綺麗なのは」の意見で一致し、そばの栽培を始めました。

花が咲き始めると綺麗なもので、せつなくきれいに咲いたからイベントをやるう」になり、そば花まつり」を始めました。これも大好評で最高では生田の人口の十倍、四千人も人が山里に押しかけ車の渋滞でどうにもならなくなつたこともあり

花が咲いたら「一度、収穫して食べてみよう」ということに発展し、年末に製麺業者にお願

いして「そばをそば屋配つたら、これがまた美味しかった。製麺業者も「生田のそばは美味し」と太鼓判。それ以後は「生田そば」として屋台を作つてイベントで出店、好評を

得てきました。その後、南あわじ市でそば料理の民俗を経営されている方と知り合い、「意外なところで腰の強い意外なそばが

生田のそばに太鼓判。そばの「手打ち」の手ほどきを受けました。練習を重ねる都度そばの味がどんどん良くなっていくことも気づき、今までの機械製麺の味との違いに驚くばかりでした。



そばカフェ生田村

営業日/土日祝
10:00
16:00母校創立九〇周年記念
式典に参加して五 熊 詔 一
(高十三回生)

昨年十月十日（祝）に淡路市の母校がホールに於いて我が母校の創立九〇周年記念式典が盛大に催されました。

それに先立ち阪神支部も二年前から実行委員会を立ち上げ、多くの卒業生に協力要請を行って参りました。お蔭で参りました。お蔭で参りました。お蔭で参りました。

阪神支部では式典参加のバスツアーを募り二十七名の方が集合場所の神戸湊川神社前に集まり予定通り九時に出発しました。

早速車内で母校の放送部が全国コンクール入賞の栄誉に輝いたドキュメンタリー作品のDVDビデオを鑑賞させ頂きました。素晴らしい出来映えで思わずこれが高校生の作品なのかと驚き又、淡路にこんな出来事があった事事も知らなかった私達に新たな感動を与えて頂きました。

明石大橋を渡るとまもなく最初の休憩箇所「淡路花さじき」に到着しました。広大な敷地に多くの花が咲き乱れ、故郷の自慢の名所に思わず大空を吸い込んで新鮮な気持ちにさせられる思いでした。

やがてバスは式典会場近くの昼食場所に到着し、全員がアルコー拔きの昼食を頂きました。

うか。満席の会場の前列に私達の席を用意して頂き、何うと生徒全員が入り切れず一年生は外と聞きました。

壇上を見上げると兵庫県の教育関係者の重鎮がずらりと並び、改めて母校の歴史の重みを感じました。やがて

式典に開式の辞と国歌斉唱で始まり、其の方の辞や祝辞が述べられる中、私達の同窓会長の薄木氏の挨拶も一際目立ち、又、生徒

代表の挨拶も素晴らしいものでした。全員で校歌斉唱の後閉会となり、休憩を挟んで今回の目玉となるアトラク

ションが始まりました。日本が世界に誇るNHK交響楽団で今回は堀正文氏が指揮するN響室内合奏団で国内でも屈指の室内合奏団です。満員の会場に迫力

ある響きと美しい音色に参加者全員がうっとりさせられ、時間の心新たに希望と元気を与え、収穫の多い実りの秋の一日となりました。

た。そうです、わが母校の校歌です、感激しました、あのN響がわが母校の校歌を演奏してくれているのです。観客の中には感極まり涙を浮かべている方もおられました。素晴らしい。まさに九〇周年式典に相応しい催し物で、関係者の皆様の苦勞が伺え、改めて感謝致します。今後恐らく淡路のしづかホールでは聞く事が出来ないのではないでしょう

か。感傷に浸り余韻が残る中、私達は懸命に手を振る大勢の生徒に見送られ帰路へと向かい

ました。途中で未だ新校舎を見ていない方がおられ、学校に立ち寄り記念写真を撮ったり、留守居の職員から説明を受けたりしました。

「ここにかえり、ここからはじまる」は私達の心に新たな希望と元気を与え、収穫の多い実りの秋の一日となりました。

「何時までも、心に青春を」そして「健康第一」を目標に再開できることを誓いました。

次回同窓会は平成二十四年六月二十四日（日）に舞子ピラ神戸で予定しております。懐かしい青春時代の仲間と再会できるのはこの時です。その折は皆さん奮って参加下さい。

津名いちさん会(ゴルフ同好会)
高十三回生

石上 勝美	五熊 詔一
上宮 峯男	奥村徹二(新居)
木村 稔	柏谷邦江(瀬合)
柴谷 英一	曾山 栄
高田 英憲	中來田吉紀
花崎 輝次	福本 昌司
藤田 克己	藤本 勝
堀 和明	松本 英志
水野 哲男	山本 幸平
薬田昭代(柿原)	

※五十音順

高十三回
女子有志高十三回
女子有志一同谷 つや子
(高十三回生)小久保 澄夫
(高十三回生)

株式会社 田中不動産

代表取締役 田中 種義
(高十三回生)〒508-0081 高槻市宮野町十二番十六号
TEL 079-971-1933
FAX 079-971-9333

そばカフェ生田村

北淡インター山間四キロ案内看板あり
TEL 079-971-0147
URL http://ikuramura.web.fc2.com/

私にできること

石上 温子
(高五十二回生)

「シンガポール」は、私が初めて海外旅行で訪れた場所であり、そこでの経験が今の私にとっての宝物です。

高校二年生の修学旅行で、私はシンガポールを訪れました。当時、津名高校は兵庫県の公立高校で初めて、海外修学旅行に取り組みました。実現するまでに、たくさんの困難があったと思いますが、私にとって本当にすばらしい修学旅行となりました。

中学校の頃から英語が大好きだった私は、初めての海外旅行に胸を躍らせていました。見るものすべてが新鮮で、出会った人たちに未熟な英語を使い、必死でコミュニケーションをとっていたことを今でも覚えています。

日本に戻ってきてからも、メールや手紙で知り合った人と自分たちの文化や考え方について交流を見ました。辞書を含めながら、授業でも習ったことのない単語を使って英文を作るのは、本当に時間がかかりました。でも、それが楽しくて夢中になっていました。国際電話がかかってくる、家族みんなで大騒ぎしたこともありました。

大学に入り、教職課程を選択し、自分の視野を広げるために、様々な活動に参加しました。

に気づかれました。この経験をぜひ、淡路の子どもたちに伝えたいと思います。

大学を卒業し、私は明石の中学校に赴任しました。そこでの三年間は毎日新しいことばかりで、戸惑うこともたくさんありましたが、とても充実していました。

そして、現在は南あわじ市立三原中学校で生徒たちとできるだけ理解しようとして、真剣に向き合っています。

修学旅行での経験が、私に夢を与え、いろいろな活動に参加する勇気を与えてくれました。そのようなすばらしい機会を与えてくれた、先生方や周りの人たちに少しでも恩返しできればと思っています。

私は生徒たちに見えることは本心に小さなこと、子どもたちの夢や目標を見つめることにしています。そのために、授業の中で国際理解教育を取り入れ、できるだけ生きた英語に触れる機会を作り、共に視野を広げていきたいと思っています。

私の一つの夢は現実となり、また、まだまだこれからが始まりです。たくさんの人と出会い、様々な考え方に触れ、自分の知識を深めていきたいです。そこをできるだけ子どもたちに伝えていきたいです。

これから、大好きな故郷、淡路島のために私ができることを少しずつ見つけていきます。

アカペラとソーラン節

竹田 龍馬
(高五十七回生)

私は今、プロのアカペラグループ KOBEB BOYS として活動しています。実はアカペラは皆さんにとってなじみかな存在で、淡路市の成人式でもアカペラグループが歌ったりしています。神戸はアカペラの聖地と言われ、多くのプログループが存在しています。

「KOBEB BOYS」という名前には、そんな神戸が全国へという意味が込められています。私は津名高校が新校舎に移転してから、初めて卒業生です。今の自分がいるのは高校三年間の経験、特に新校舎に移転してからの一年があったからだと思っています。友人のおかげで本気で何かに取り組み素晴らしさを知りました。私を変えてくれた「アカペラ」そして「ソーラン節」という二つの出来事を紹介したいと思います。

まずは「アカペラ」との出会いです。私は高校二年間、あまり自己主張する生徒でもなく普通に過ごしていましたが、五年前の文化祭、生徒会の企画委員をやっていた私は、生徒会が何か出し物をやることになり、それがきっかけで始めたのがアカペラです。当時、どうやっていいかわからず、それでも何とか

完成したものの：当日は緊張でとてもハーモニを奏でることはできませんでした。しかし、リハーサルもかねて歌った瞬間、聞いてくれた人たちの表情は、いまでも忘れられません。その時に音楽の力、アカペラの力を実感しました。それからもっと上手になりたいと大学のサークルで頑張ってきました。

次に「ソーラン節」です。今、津名高校の体育祭でソーラン節が踊られていると聞き、文化祭で、当時の生徒会長を中心に私も含め約二〇人で踊ったのが始まりです。その時は文化祭の出し物として踊るのが体育祭で、今度私たちが友人含め大人数で踊りました。新しい試みに批判の声もありましたが、今では体育祭を盛り上げるプログラムになりました。と聞き、大変嬉しく思っています。

そんな二つの出来事があった今の私がいます。一つのことに真剣に取り組む素晴らしさ。また、一人のチカラは小さいもので大勢でやればなるくらい大きなチカラになることを学びました。六月十七日に最初のミニアルバムを発売し

阪神支部会費納入について
(年額 2,000 円、平成 23 年度分)

大ピンチです!! 当支部年会費のお願い

阪神支部では、年に 1 回支部報を発行し、今回で第 16 号目の支部報を発行しました。この発行に際しましては、全会員に対する郵送料を含め 1 回につき約 100 万円の費用が必要です。

そのため、支部報を発行する度に数十名の方々から賛助広告を頂いて何とか発行にこぎつけているのが現状で、このままでは今後年に 1 回発行していくことが極めて厳しい状況です。特に昨年は 90 周年の基金不足金を補てんしましたので火の車状態になっております。

しかし、会員の皆さんに母校の現状をお知らせし、母校と会員の連絡を保つためにはこの支部報が唯一の手段ですので、何としてもこの支部報の発行は今後とも続けて行きたいと考えています。

つきましては、1 年間に 1 回 2,000 円の会費ですので、1 人でも多くの阪神支部の会員の皆さん方におかれまして支払って下さいますよう、伏してお願ひ申し上げます。本支部報に同封しております「払込取扱票」又は銀行振込により納入して下さいますよう重ねてお願ひします。

★郵便振替口座
口座番号 00980-7-184478
口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

★銀行振込ご利用の場合
銀行支店名 三井住友銀行池田支店
口座番号 普通預金 7169843
口座名義 兵庫県立津名高等学校同窓会阪神支部

淡路島でつくる日本のお線香 宝と花琳 株式会社 薫寿堂 代表取締役 福永 稔 〒652-0121 淡路市多賀二五五一 TEL 〇七九八五二二〇二 FAX 〇七九八五二二〇二	大切な人のものしものときに (株)片山葬祭 片山 悟 (高二十九回生) 〒652-0101 淡路市黒谷一四八二番地 TEL 〇七九八四一八三三 FAX 〇七九八四一八三三	医療法人社団 高山会 高山クリニク 理事長 高山 秀則 卒業生十三名在職 〒652-0102 淡路市志筑新島六二七 TEL 〇七九八二一三六六	FJK 法律事務所 弁護士 藤木 啓彰 (高二十七回生) 事務所 福岡 大阪市中央区北浜三丁目二番一 TEL 〇六六二〇六六四一六八 FAX 〇六六二〇六六四一七〇 E-mail info@fjk-law.com http://www.fjk-law.com	佐藤 正文 (高十五回生)	北川 映子 (高十五回生) 〒652-0121 神戸市北区有野台四一〇一 TEL 〇七九八二一三二一八 FAX 〇七九八二一三二一八	片平 雅文 (高十五回生)	中野 淑郎 (高十五回生)	松野 聰子 (高十五回生)
---	--	---	--	---------------------------------	---	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

東京支部だより



津名高校同窓会東京支部の 活性化に向けて

津名高校同窓会
東京支部長
岩井 吉人
(高十二・回生)

昨年の夏、東京地区在住の有志による親睦会の際「昭和六十二年以降、津名高校同窓会東京支部総会を開催していないので、是非近々東京地区在住の全会員、約五〇〇名の方々に」案内しての同窓会を開催しよう」との気運が高まりました。その席上、羽谷重信前支部長より私岩井が支部長を引継ぐこととなりました。早速、昨年十一月十四日（日）、アルカディア市ヶ谷において二十三年振りに東京支部会（懇親会）を開催したところ、六十四名の参加者となり、また、本部同窓会薄木会長が遠路関西からおいでいただき盛大な支部会となりました。今回の支部会で特筆したいことは、まず参加者の年齢構成です。その内訳は、三十七才から八十七才、参加者の各卒業年次は、三十才年にわたる非常に均衡のとれた構成でした。特に若い世代の参加者が多く、同窓会への関心の深さが汲みとれ、今後の支部活性化に明るい展望が開けてきたのではと、支部長の初仕事として安堵し、今

ご鞭撻をお願いいたします。小生、一年半前に住み慣れた神戸から埼玉県川越市に転居してきました。関東のことは方向音痴でかつ知識不足ですので、いろいろお教えいただければ幸いです。不慣れな支部長ですが、役員・会員の方々のご協力を頂きながら職責を全ういたす所存です。最後に、このたびの

古今東西

東京支部
田村

「面白い」とこれが、昨年、東京支部会で放映された「NHK杯全国高校放送コンテスト」、3年連続入賞した3作品をみた率直な感想です。そして、「よくぞ、頑張ってくれている」私が、津名高校の放送部に入ったのは、今年二十三年近く過る、平成三年の五月頃だったと思います。当時の記憶がだいぶあやふやですが、懐かしく思い出しました。今では無二の親友ですが、最初は、中学時代に連でた同級生の同クラス、顔を知っている程度の普通の女の子であった、ちーさん。女とは別だった彼女と何故だか時折見かけが話することがありまして、結構興味趣向が似通っていて、意気投合していました。誘われたのが放送部でした。当時の放送部は、二年は私達女子二人、一年は優しく先輩の方が男子一人・女子三

放送部

古土井 洋子
(高四十四回生)

人、三年は面白おかしく賢者な感じの男子二人・女子一人、その他幽霊部員が数人の楽しい集まりでした。活動場所は、今は無き旧校舎の、正面向かって右側の藤棚近くの棟の1F。事務所の横の公衆電話の横にひっそりとある一枚扉の中にこれが放送室でした。中には、縦に三部屋あり、廊下から入ってすぐが、昔のハミリやラレコードやわんざが入っているロッカーに占拠された一畳ほどの部屋。続いて、防音扉を開けると、六畳程の8chのT.O.A.のいわゆる学校放送用の音響ミキサーが隅にあり、机と椅子が大勢を占める部屋。ここが、悲喜こももいる場所であつた。一番の活動場所でした。あの頃はラジオ番組を作っている事に嬉しく、こんな素晴らしい、わんざ、学校の事がよくわかりました。よく調べたあとと感嘆の声しき

ですが、後ろに窓があり、その向こうは、旧体育館(当時)があつて、放課後はバスケットなどの運動部の音が聞こえてきたりするので、ほんとに物置になつていました。二年の頃は、卒業された先輩たちが、この窓からご機嫌伺いに珍入してきたり、三年の頃、卒業制作と、カセットテープ用の横長の棚を、試験勉強しているちーさんの横でこそそそ作られて、置き土産したものこの部屋でした。放送部の活動としては、私がアナウンサー、ちーさんがミキサーで、放課後やお昼休みに一言話して音楽を流すのが一番の活動でした。締め切り間際に、たまたまに遅くも顧問の先生を巻き込んで、放送コンテスト用のラジオ番組を作ったりすることもありましたが、雑談したり勉強したりすることのほうが多かったように思います。先輩は、一つ下が女子数人、二つ下も女子数人で、私達が卒業した次の年、その後輩たちがだんじりを題材にした番組で賞をとる快挙を成し遂げたのは、現放送部の頑張りのおかげから続いているのではないかと思います。許せ、力足らずの先達を。

兵庫県立津名高等学校同窓会東京支部役員

平成23年5月14日現在							
役	卒 回	氏 名	役	卒 回	氏 名	役	卒 回
支部長	12	岩井 吉人	幹 事	18	齋木 美恵子		
副支部長	15	北 畠 尚子	幹 事	19	栗 林 鈴代		
副支部長	18	宝 谷 博光	幹 事	20	俵 貞代		
顧問	5	笹 川 英明	幹 事	21	永 田 治		
顧問	8	羽 谷 重信	幹 事	22	清 水 啓司		
事務局長	19	野 田 勇	幹 事	25	小 西 早苗		
会計監事	19	菊 池 原 道子	幹 事	25	藤 本 晴子		
			幹 事	27	正 司 顯好		
幹 事	2	正 司 たか子	幹 事	27	仲 田 成徳		
幹 事	5	中 川 勇	幹 事	27	向 井 清		
幹 事	7	本 田 渉	幹 事	28	風 博史		
幹 事	9	奥 浩行	幹 事	29	後 藤 雅代		
幹 事	9	船 越 一夫	幹 事	31	仲 田 正徳		
幹 事	10	神 代 英子	幹 事	32	植 松 陽一		
幹 事	12	山 本 和稔	幹 事	35	田 中 佐織		
幹 事	14	瀬 戸 山喜世子	幹 事	36	山 上 秀彦		
幹 事	15	山 本 二郎	幹 事	41	田 村 友三		
幹 事	17	加 集 清純	幹 事	44	田 村 洋子		

東京支部 田村友三 (高四十一回生)	東京支部 後藤(田中)雅代 (高二十九回生)	東京支部 風博史 (高二十八回生)	東京支部 正司顯好 (高二十七回生)	東京支部 藤本晴子 (高二十五回生)	東京支部 小西(打越)早苗 (高二十五回生)	東京支部 俵(上原)貞代 (高二十回生)	東京支部 齋木(藤原)美恵子 (高十八回生)	東京支部 北畠(橋本)尚子 (高十五回生)
--------------------------	------------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	------------------------------	----------------------------	------------------------------	-----------------------------

東京支部
笹川英明
(高五回生)

東京支部
中川 勇
(高五回生)

東京支部
神代(吉岡)英子
(高十回生)

東京支部
瀬戸山(浜田)喜世子
(高十四回生)

淡路会の「俳句同好会」に参加して

東京淡路会 俳句同好会(満潮会)会員
津名高校同窓会東京支部副部長
北 畠(橋本) 尚 子
(高十五回生)

故郷淡路を離れて、

四十七年経ってしま

いました。京都・大阪・

神戸を経て、神奈川県

に住みついて四十三年

になります。十年前ま

では、サラリーマンの

夫と二人の娘のために、

専業主婦に徹してやっ

と自分だけの時間を

持って自由に動ける様

になりボランティアを

始めたり、故郷を懐か

しく思うようになりま

した。ところが津名高

校同窓会の東京支部の連

絡が取れず、偶々入会

の案内のあった東京淡

路会に、参加すること

になりました。ところが、

津名高出身者が居ない

んです。取りあえずゴ

ルフ同好会と俳句の会

に参加して楽しんでい

ます。私の力では、同

窓会の発足は無理と、

東京在住の同窓生に淡

路会への参加を、お誘

いしました。丁度そこ

に、岩井吉人さんが、

埼玉に転居してこれら

れ、まず淡路会に入っ

ていただきました。そこ

でぜひ東京支部同窓会

を開催しようとして、

盛り上がり、岩井さん

のご努力で昨年の懇親

会の運びとなりました。

ところがどうでしょう、

沢山の方が参加してい

ただき、幹事も快く引

き受けて頂けました。

やっぱりみんなが、同

窓会があればいいなと

思っていたのではない

かと、大変うれしく、

「絆」

東京支部
藤 本 晴 子
(高二十五回生)



本大震災で延期となり、再度、六月十一日に集まる事が出来ました。嬉しく、有り難い同窓会で「絆」と言う言葉を体験した出来事でした。

「ちよつと一言」

来年五月三二日に東京スカイツリータワーに開催される自立式電波塔では世界一の高さ、武蔵野国にちなみ六三〇m(当初の計画は六一〇m)となります。

今までは、中国の「広州タワー・六〇〇m」カナダの「NCタワー・五三三m」でしたが五重塔の心柱制振などの古来の技を日本の最新技術に生かして足元三角上部につけて円錐形の美しいタワーになります。

東京支部会員の皆様へ

<支部(活動支援)会費のお願い>

皆様、既にご承知のとおり昨年 11 月、津名高校同窓会東京支部の再出発を起して東京支部会(懇親会)を開催いたしました。今回の東京支部会を機に、支部会員相互の親睦を図り、より一層支部の活性化に向けて役員一同、尽力して参りたいと考えています。

今後、定期的な東京支部総会(懇親会)の開催、並びに東京支部オリジナルの「東京支部報」の発行をはじめ、色々な面に趣向を凝らした支部の活動に努めていきます。

つきましては、上記種々の活動を開催・実施するにあたり、皆様への「支部総会・懇親会等のご案内状」の送付や「東京支部報」作成等の費用を必要としますので、任意ではございますが、皆様の暖かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

支部(活動支援)会費 2,000 円

振込口座 ★郵便振替 00190-3-743924

兵庫県立津名高等学校同窓会東京支部

○ 同封「振込用紙」をご利用下さい。振込手数料は受取人負担です。

★銀行振込 三井住友銀行下高井戸支店

普通預金 3837218

兵庫県立津名高等学校同窓会東京支部

○ 振込手数料は振込人のご負担です。

照会先 〒350-1141
埼玉県川越市寺尾 6 4 - 3
岩 井 吉 人 内
兵庫県立津名高等学校同窓会東京支部
支部長 岩 井 吉 人
電話 FAX 049-241-8323
携帯 090-9875-5049
メール ytiwai@kzh.biglobe.ne.jp

東京支部

堀 田 昭 文
(高12回生)

東京支部

速 水 昭
(高12回生)

淡路会への参加を、お誘いしました。丁度そこに、岩井吉人さんが、埼玉に転居してこれられ、まず淡路会に入ってくださいました。そこでぜひ東京支部同窓会を開催しようとして、盛り上がり、岩井さんのご努力で昨年の懇親会の運びとなりました。ところがどうでしょう、沢山の方が参加していただき、幹事も快く引き受けて頂けました。やっぱりみんなが、同窓会があればいいなと思っていたのではないかと、大変うれしく、

年毎に母似になりて
木の芽ねえ
ふるさとを思へば花
菜明かりかな

猛暑がようやく納まりかけた頃、一通の便りが届いた。津名高校同窓会東京支部会「絆」という組織があった事すら知らなかった私。事務局の方、申し訳ありません。果たして知った顔が居るのかしらと正直悩んでしまい、思い切つて出席通知を投函。程なく岩井吉人様より連絡を受け、「同期を中心にお誘いして戴きたい。」との事。十数名にお便りを出した処、何名かの方より電話が有。部活が同じ方、幼馴染み等、三十数年振りの会話は、淡路弁が飛び出す位、一気にタイムスリップしてしまつた。津名高を卒業後、進学・就職・結婚・転勤等東京在住の事情は様々でした。

「趣味の同好会」発足について 幹事さんを求めています！

先の、津名高校同窓会東京支部会(懇親会)の席上で、出席者の方から「津名高校 OB にやる趣味の会等を発足しては」とのご意見がございました。つきましては、例として下記の同好会などを立ち上げるにあたり、会員の中から各同好会の取りまとめ(幹事役)を行っていただける方を募っていますので、ご応募のほどよろしくお願ひ申し上げます。なお、幹事さんが決まり、各同好会への勧誘等など詳細については、後日支部報などを通じて会員の皆様にご案内を行う予定です。

同好会の例：釣り、囲碁、将棋、俳句、ゴルフ、麻雀、名所散策、書道、絵画、演劇・音楽鑑賞、マンドリン、カラオケ、ゲートボール等

※ 応募等のご連絡は、下記問い合わせ先へお願いします。

※ ご参考ですが、東京淡路会では、現在、釣り、囲碁、俳句、ゴルフ、麻雀、絵画の同好会があります。

ご興味のある方は、下記「東京淡路会について」の内容を、ご参照下さい。

「東京淡路会」について

東京淡路会とは、関東在住の淡路島出身者で集う親睦会です。会員相互の親睦を図るとともに、互助共益、郷土淡路の文化・経済の向上に寄与する目的を有します。大正 7 年に初代会長の永田秀次郎(貴族院議員、東京市長)を中心に創立され、以来 92 年を数えます。

東京淡路会では：

総会を毎年 10 月に明治記念館で催し親睦を深めます。(淡路からは、地元国会議員・県会議員・市長が出席されます)

会報・名簿(約 70 ページ)を 4 月中旬頒行し、会員及び故郷淡路の各役所、学校、各団体に配ります。

勉強会・懇親立食パーティーを年 3 回催しています(会費 3,000 円)。

同好会として釣り会(船)、囲碁会、俳句会、ゴルフ会、麻雀会、絵画会等それぞれに年 2～3 回催されており、趣味を楽しみながら、親睦を深めています。また、イカナゴパーティー、カラオケ&食事会等々で楽しんでます。

※会運営のための年会費：3,000 円です。

※家族会員(任意)：1,000 円です。

※会員数：現在約 250 名です。(うち津名高校出身者は 34 名)

※ご入会の方には各催しのご案内と会報をお送りしています。

※東京淡路会に入会のお申し込みは下記までご連絡ください。

問い合わせ先 〒350-1141 埼玉県川越市寺尾 64-3
東京淡路会理事
岩井吉人(東京支部支部長)
電話/FAX: 049-241-8323
携帯 : 090-9875-5049
〒259-1322 神奈川県県野市浪沢 7 6 8-8
東京淡路会推進委員
北島尚子(東京支部副支部長)
電話/FAX: 0463-88-7389
携帯 : 090-5764-8719

有限会社 山本ハウス

代表取締役 山 本 和 稔 (高12回生)

〒302-0023

本社 茨城県取手市白山 4 丁目 3 番 11-201
埼玉オフィス TEL.048-734-1876 FAX.048-793-7746

東京芸大(取手キャンパス)・宇都宮大学・茨城大学・常盤大学(水戸市)に入学された方で「足長おじさん」を必要とするときは連絡ください。

業務用米穀卸専門店
有限会社 山 食

代表取締役 山 口 洋 児 (高12回生)

〒247-0026 横浜市区大町 32-5

TEL.045-892-5585

東京淡路会理事
津名高校同窓会東京支部支部長
岩 井 吉 人
(高十二回生)

〒350-1141
埼玉県川越市寺尾 64-1-13
TEL.049-241-8323

クラブ活動

「体育部」
—淡路総体—
男子準優勝
女子準優勝
—県総体—

●陸上

男子	100m		
	11 秒 53	坂本 宣幸	
	11 秒 53	大原 和馬	
	200m		
	23 秒 41	坂本 宣幸	
	23 秒 13	大原 和馬	
	22 秒 60	中岡 拓也	
	400m		
	決勝 8 位		
	50 秒 61	中岡 拓也	
	800m		
	2 分 05 秒 36	延安 哲弘	
	4 × 100m		
	43 秒 78	大原・坂本・正司・中岡	
	4 × 400m		
	3 分 30 秒 16	大原・坂本・上原・中岡	
	走幅跳		
	6 m35	上原 和浩	
	6 m38	正司 高暉	
	やり投		
	45m10	象橋 莊仁	
女子	1500m		
	4 分 56 秒 39	岡 美里	
	3000m		
	決勝		
	10 分 39 秒 22	岡 美里	
	4 × 400m		
	4 分 40 秒 64	中原・品野・高谷・高津	
	円盤投		
	19m38	武田 真弥	
	やり投		
	34m82	武田 真弥	
	29m03	高津沙也加	

●女子バスケット

- 1 回戦 津名 75-62 兵庫工業
2 回戦 津名 64-89 明石南

●柔道

- 男子団体試合
第 1 試合 津名 3-2 川西北陵
第 2 試合 津名 2-3 雲雀丘
男子個人試合・73 kg 級
1 回戦 川上 亮太

●ソフトボール

- 2 回戦 津名 3-4 山崎

●男子ソフトテニス

- 個人戦
1 回戦 福岡・岡本 1-4 井手・岩崎 (東播磨)
2 回戦 筒井・蓑田 0-4 大久保・石田 (明石西)
森藤悠・森藤健 3-4 池田・好村 (神戸星城)
3 回戦 有附・石上 1-4 井上・大村 (龍野)
ベスト 32 高岡・田中 3-4 前田・溝内 (市川)
団体戦 第 9 位
1 回戦 津名 3-0 長田
2 回戦 津名 2-0 加古川西
3 回戦 津名 0-2 明石西
敗者復活 津名 2-0 豊岡
近畿大会出場

●剣道

- 男子団体
2 回戦 津名 0-2 長田
女子団体
1 回戦 津名 2-0 芦屋
2 回戦 津名 1-4 神戸鈴蘭台
男子個人
井上泰希・工藤 (明石南) 勝ち
井上泰希・中崎 (北須磨) 負け
大迎栄紀・廣田 (西宮東) 勝ち
大迎栄紀・加藤 (加古川北) 負け
鉢田祐生・鈴木 (姫路工) 負け

女子個人

林歩奈美・尾崎 (宝塚東) 負け

●男子バスケットボール

- 2 回戦 津名 100-94 兵庫工業高校
3 回戦 津名 53-77 北摂三田

●女子バレーボール

- ベスト 32
2 回戦 津名 2 25-22 0 播磨 25-18
3 回戦 津名 2 25-11 0 尼崎稲園 25-15
4 回戦 津名 0 12-25 2 尼崎産業 18-25

●卓球

女子団体戦
1 回戦 津名 0-3 明石商業

●サッカー

1 回戦 津名 1-3 神戸高専

●男子バレー

- 1 回戦 津名 2 25-13 0 西宮南 25-14
2 回戦 津名 0 14-25 2 姫路工業 18-25

●女子ソフトテニス

- 個人戦
1 回戦 宇城・藤野 2-4 小山・今井 (生野)
団体戦
1 回戦 津名 3-1 佐用
2 回戦 津名 1-2 網干

●女子水泳部

- 女子 400m リレー 県 9 位
岡、村上、木下、木村 4' 16"00
女子 400m メドレーリレー 県 10 位
岡、村上、木村、木下 4' 46"96
女子 200m 個人メドレー 決勝 3 位
木村 萌美 2' 22"85
近畿大会へ
女子 400m 個人メドレー 決勝 2 位
木村 萌美 4' 57"76
近畿大会へ
女子 200m 背泳ぎ 県 12 位
岡 美里 2' 27"16
女子 200m 個人メドレー 県 16 位
村上しおり 2' 36"14
女子 400m 自由形 県 18 位
村上しおり 4' 50"77
女子 100m 背泳ぎ 県 22 位
岡 美里 1' 11"50
女子 50m 自由形 県 31 位
木下 春菜 30"18

「文化部」
放送部

平成 22 年度前半

- ▼平成 22 年 6 月 6 日 (日) 於 県立明石高等学校
第 57 回全国高校放送コンテスト
兵庫県大会第 3 地区予選
ラジオドキュメント部門「音
古知新アナログ帰郷」入選
▼平成 22 年 6 月 20 日 (日) 於 神戸学院大学ポート
アイランドキャンパス
平成 22 年度第 57 回全国高校放送
コンテスト兵庫県大会決勝
ラジオドキュメント部門「音古
知新アナログ帰郷」優勝
テレビドキュメント部門
「番城ヶ丘の先住者達」優勝 (3 連覇)
「一隅を照らす」優良賞

「体育部」

●野球

- 第 92 回全国高等学校野球選手権兵庫大会
2 回戦 津名 2-1 県芦屋
3 回戦 津名 5-4 明石城西
4 回戦 津名 1-3 神戸弘陵

●陸上

- 第 62 回兵庫県高等学校ユース陸上
競技対抗選手権大会
男子 1 年 走幅跳 正司 高暉 6 位
女子 2 年 やり投 武田 真弥 6 位
男子 第 65 回・女子 第 27 回兵庫県
高等学校駅伝競走大会
男子 延安・森、呉昇、堀川、山口、
平山、井井 29 位
女子 中山、高谷、和田、山口、
小山 27 位

●男子バスケットボール

- 第 41 回全国高等学校バスケット
ボール選抜
優勝大会兵庫県予選兼第 64 回兵庫
県民体育大会バスケットボール競技
1 回戦 67 津名 $\left\{ \begin{array}{l} 12-21 \\ 15-10 \\ 19-39 \\ 21-16 \end{array} \right\}$ 社 86

●柔道部

- 県総体
男子団体戦
1 回戦 津名 3-2 川西北陵
2 回戦 津名 2-3 雲雀丘
個人戦 73 kg 級 川上 亮太 初戦敗退
県新人
男子団体戦
1 回戦 対尼崎北 四人残り負け
個人戦
60 kg 級 佐竹 史慶 初戦敗退
66 kg 級 平見 淳 初戦敗退
73 kg 級 沖 泰宏 初戦敗退
73 kg 級 佐伯 奎介 初戦敗退
73 kg 級 正本 敦士 初戦敗退

●男子ソフトテニス

- 平成 22 年度近畿高等学校ソフト
テニス選手権大会
男子団体戦
1 回戦 2-1 東宇治 (京都)
2 回戦 2-1 関西中央 (奈良)
3 回戦 1-2 神戸星城 (ベスト 16)
平成 22 年度全金高等学校ソフト
テニス選手権大会
第 1 位 品川・谷川
第 2 位 筒井・森腰
平成 22 年度兵庫県高等学校新人
ソフトテニス中央決勝大会
男子個人戦
準々決勝進出 筒井・森腰 (ベスト 8)
男子団体戦
1 回戦 津名 3-0 北須磨
2 回戦 津名 1-2 尼崎小田
平成 22 年度近畿高等学校ソフト
テニス選抜インディア大会
2 回戦 筒井・森腰 2-4 岡田・齋藤 (奈良・高田)

●女子ソフトテニス

- 平成 22 年度兵庫県高等学校新人ソ
フトテニス中央決勝大会
個人戦
1 回戦 宇城・藤野 4-1 有馬
大谷真・大谷有 3-4 明石西
向井・平田 3-4 篠山産
2 回戦 宇城・藤野 2-4 須磨学園
団体戦
1 回戦 津名 0-3 市尼崎
●卓球
平成 22 年度全日本卓球選手権大会
兵庫県予選会 (ジュニアの部)
4 回戦 岩城和 1-3 福居 (山崎)
濱辺 0-3 田阪 (湊川中)
3 回戦 廣島 0-3 福田 (高砂南)
岩城大 2-3 大上 (吉田中)

平成 22 年度兵庫県高等学校新人卓
球選手権大会
男子団体戦
1 回戦 津名 0-3 県立西宮
女子団体戦
1 回戦 津名 0-3 出石

●サッカー

- 兵庫県高等学校サッカー選手権大
会 (中央大会) 兼第 89 回全国高等学
校サッカー選手権大会兵庫県予選
1 回戦 津名-太子 棄権負け

●ソフトボール

- 第 64 回兵庫県民体育大会ソフト
ボール競技
少年女子の部
1 回戦 津名 0-2 加古川南
第 59 回兵庫県高等学校新人ソフト
ボール大会
1 回戦 津名 2-3 加古川西

●剣道

- 第 57 回兵庫県剣道優勝大会 (学校
の部) 兼第 64 回兵庫県民体育大会
(剣道競技)
男子団体
1 回戦 津名 1-0 東播磨
2 回戦 津名 0-3 明石城西
女子団体
2 回戦 津名 0-4 明石
第 57 回兵庫県高等学校新人剣道大会
第 21 回高砂市長杯争奪高等学校剣道大会
男子団体
2 回戦 津名 0-2 川西緑台
女子団体
2 回戦 津名 0-4 有馬

●男子バレー

- 第 63 回全日本バレーボール高等学
校選手権大会 (春の高校バレー) 兵
庫県予選
津名 1 $\left\{ \begin{array}{l} 25-20 \\ 22-25 \\ 19-25 \end{array} \right\}$ 2 三木

●女子バレー

- 第 63 回全日本バレーボール高等学
校選手権大会 (春の高校バレー)
兵庫県予選
津名 2 $\left\{ \begin{array}{l} 25-12 \\ 25-13 \\ 9-25 \end{array} \right\}$ 0 尼崎稲園
津名 1 $\left\{ \begin{array}{l} 25-20 \\ 22-25 \\ 18-25 \end{array} \right\}$ 2 市神港

●水泳

- 近畿大会
女子 200m 個人メドレー
木村 萌美
2' 23"89 近畿 12 位 全国大会へ
女子 400m 個人メドレー
木村 萌美
5' 02"05 近畿 10 位 全国大会へ
全国高校総体水泳競技大会
女子 200m 個人メドレー
木村 萌美
2' 25"00 75 人中ベスト 59
女子 400m 個人メドレー
木村 萌美
5' 05"73 68 人中ベスト 47
県高等学校ジュニア選手権水泳競
技大会
女子 2 年の部 県 7 位
2 年女子 100m 背泳ぎ
岡 美里
1' 08"04 決勝 2 位入賞
2 年女子 200m 個人メドレー
村上しおり
2' 38"68 決勝 8 位
兵庫県高等学校対抗冬季水泳競技大会
女子 50m 自由形 木下 春菜
28"90 決勝 7 位
女子 50m 平泳ぎ 村上しおり
38"82 決勝 8 位
女子 100m 背泳ぎ 岡 美里
1' 07"72 決勝 8 位

「文化部」

●演劇部

- 平成 22 年度兵庫県高等学校演劇研
究会淡路支部合同発表会
11 月 7 日 洲本市民交流センター・ビバ
ホール
石原哲也作 津名高校演劇部調
色「同級生」優良賞受賞
●ギター・マンドリン部
第 40 回全国高校ギター・マンドリ
ンフェスティバル (朝日新聞・社団
法人全日本高等学校ギター・マン
ドリン音楽振興会主催)
7 月 24・25 日
吹田市文化会館メイ・シアター
大ホール
優秀賞並びに大阪市長賞受賞
第 34 回兵庫県高等学校ギター・マ
ンドリンフェスティバル (兵庫県
高等学校文化連盟楽器・管弦楽部
門主催)
11 月 21 日
伊丹市立文化会館いたみホール
優秀賞受賞

●写真部

- 第 18 回春季写真コンテスト淡路支
部予選
6 月 21 日 洲本高校
特選「イケイケ GOGO !」
3 年 濱田 祐実
入選「涼しくなったよ」
1 年 幸田 春花
入選「瞳にうつる空」
2 年 仲野 水綺
第 18 回春季写真コンテスト県本部
審査
6 月 29 日 明石高校
努力賞「おばあちゃん」
1 年 宮本 誉子
ユーモア賞「いい眠りだなあ〜」
2 年 森 洋子
第 34 回兵庫県高等学校総合文化祭
写真部門
11 月 14 日 原田の森ギャラリー
特選「ああ〜静かになった…」
2 年 森 洋子
(第 35 回全国高等学校総合文化祭写真部門出品)
「真剣」1 年 幸田 春花

●書道部

- 平成 22 年度高野山鏡書大会
準特選 3 年 幸田あずさ
金賞 3 年 太田 侑希
銀賞 1 年 鯛 裕子
銅賞 1 年 永西 楓
第 9 回岐阜女子大学全国書道展
特賞 3 年 太田 侑希
秀作賞 3 年 幸田あずさ
優秀賞 1 年 永西 楓
努力賞 1 年 鯛 裕子
努力賞 1 年 新聞 摩美
第 34 回兵庫県高等学校総合文化祭
書道展・第 56 回兵庫県高等学校書
道展
選抜賞 1 年 永西 楓
(23 年度の兵庫県高等学校選抜書道展に出品決定)
入選 1 年 鯛 裕子

●吹奏楽部

- 第 57 回兵庫県吹奏楽コンクール淡
路大会
8 月 1 日 しづかホール
金賞受賞
第 57 回兵庫県吹奏楽コンクール
8 月 6 日
尼崎総合文化会館アルカイック
ホール
銅賞受賞
第 38 回兵庫県アンサンブルコンテスト
12 月 26 日 しづかホール
打楽器八重奏 金賞受賞

62 期生 (平成 23 年 3 月卒業) 進路状況

4 年制大学進学状況

大 学 名	合 格	進 学
福井大	1	1
名古屋工大	1	1
滋賀大	1	1
大阪教育大	2	2
神戸大	3	3
兵庫教育大	2	2
奈良教育大	1	1
和歌山大	3	3
鳥根大	2	2
岡山大	1	1
広島大	1	1
山口大	2	2
徳島大	4	4
香川大	6	6
愛媛大	1	1
高知大	3	3
長崎大	1	1
大分大	1	1
国 立 大 合 計	36	36
大阪市立大	1	1
兵庫県立大	3	3
山口県立大	1	1
高知県立大	2	2
高知工科大	1	1
公 立 大 合 計	8	8
愛知学院大	1	1
びわこ成蹊大	1	1
大谷大	3	3
京都産業大	16	2
京都女子大	3	1
京都精華大	1	1
同志社大	9	1
同志社女子大	2	1
佛教大	13	3
立命館大	12	1
龍谷大	14	1
大阪経大	1	1
大阪芸大	1	1
大阪工大	3	1

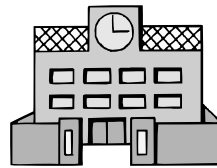
大 学 名	合 格	進 学
大阪商大	1	1
関西大	13	3
関西外大	2	1
近畿大	14	3
四天王寺大	3	1
摂南大	1	1
桃山学院大	2	1
関西医療大	1	1
大阪女学院大	1	1
藍野大	1	1
大阪物療大	1	1
大手前大	1	1
関西学院大	13	6
甲南大	18	7
甲南女子大	2	2
神戸学院大	15	7
神戸女子大	2	1
松蔭女子学院大	10	1
神戸親和女子大	4	3
園田学園女子大	2	1
武庫川女子大	6	3
流通科学大	4	2
関西福祉大	1	1
関西国際大	1	1
関西看護医療大	2	1
近大姫路大	1	1
神戸常盤大	3	2
天理大	1	1
奈良大	1	1
畿央大	2	1
岡山理大	1	1
川崎医療福祉大	1	1
倉敷芸術科学大	1	1
福山大	1	1
広島国際大	1	1
四国大	3	1
徳島文理大	5	3
私 立 大 合 計	222	73
4 年制大学合計	266	117

短期大学進学状況

短 大 名	合 格	進 学
華頂短大	1	1
大阪国際短大	1	1
大阪女子短大	1	1
甲子園短大	1	1
神戸女子短大	4	1
神戸常盤短大	2	2
産業技術短大	1	1
園田学園女子短大	1	1
武庫川女子短大	5	3
短 大 合 計	17	11

就職状況

公 務 員 種・会 社 名	合 格	就 職
西宮市消防	1	1
西宮市役所／一般事務	1	1
兵庫県警	1	1
郵便事業株式会社	3	3
(有) 丸一水産	1	1
(有) 金崎タイヤ	1	1
たこせんべいの里・多幸	1	1
ホテルニューアワジ	1	1
株式会社ナーブ	1	1
三洋エナジー南淡株式会社	1	1
三洋電機(株)モバイルエナジー	2	2
ミツ精機	1	1
川崎重工工業	1	1
住友金属工業鋼管カンパニー	1	1
就 職 合 計	17	17



専門学校進学状況

学 校 名	合 格	進 学
東徳島医療センター附属看護専	1	1
兵庫県立総合衛生学院	1	1
兵庫県立淡路看護専門	9	6
大津赤十字看護専門	1	1
京都第二赤十字看護専門	1	1
姫路赤十字看護専門	1	1
大阪警察看護専門	1	1
関西学院女子看護専門	1	1
明石医療附属看護専門	1	1
京都府医師会看護専門	1	1
神戸市医師会看護専門	1	1
姫路医師会看護専門	1	1
大阪医専	2	2
日本医療学院専門	1	1
東洋医療専門	1	1
神戸総合医療専門	6	6
関西総合リハビリ	5	5
履正社医療スポーツ専門	1	1
トヨタ自動車大学校	5	4
国際フード製菓専門	1	1
辻調理師専門	1	1
兵庫栄養調理専門	1	1
神戸製菓専門	2	2
日本栄養専門	1	1
関西美容専門	1	1
ルトア東亜美容専門	1	1
ヴェルルーージュ美容専門	2	2
関西ビューティプロ専門	1	1
ビジュアルアート専門・大阪校	1	1
大阪ビューティアート専門	1	1
日本外国語専門	1	1
大阪観光専門	1	1
神戸ロイヤルゲームング学院	1	1
神戸電子専門	1	1
大原簿記専門・神戸校	4	4
国立波方海上技術大学校	1	1
専 門 学 校 合 計	63	50

進路指導部より
六十二期生進路状況

六十二期生の進路状況をご報告させていただきます。

就職・公務員

民間就職に就いたのは、昨年比べて就職希望者が倍増しましたが、男子九名、女子五名の合計一四名の全員が内定を得ました。

例年に比べ求人数も少なく、激戦の就職戦線でしたが、津名高生は十二分に力を発揮し、期待に応えてくれました。

公務員試験は狭き門ですが、西宮市職と西宮市消防職に男子二名、兵庫県警に男子一名が合格しました。

進路・国公立大学で飛躍的な伸び

二期生は過去四・五年間の中で、最も国公立大

編集後記

なんと恐ろしい事が起きるのだろう。阪神淡路大震災の記憶もまだ消えぬ間に、今度の東日本大震災である。

万一、同窓の諸兄に被災された方が在れば、一日も早い復興を祈ります。思えば本紙も前の震災を機に発刊される様になった次第である。

昨年から東京支部が再編され、去る十一月十四日の市ヶ谷での総会には、「六十四名」の津名高卒業生が参集されたそうです。

※(一)は卒業生です。

東田 雅俊 (16)

佐藤 正文 (15)

北川 映子 (15)

南 正光 (14)

梁瀬 資子 (13)

石田 ささ子 (13)

小久保 澄夫 (13)

五 熊 昭一 (13)

薄木 昌信 (7)

田中 種義 (13)

編集委員

を願っています。

会員の高齢化で読み易い誌面にするため活字を大きくする予定です。

したが、次号にゆずります。お許しください。

(田中 記)

TOKYU INN 神戸 東急イン

同窓会は駅前がいっぱん

神戸 東急イン JR三ノ宮駅前
〒651-0096 兵庫県神戸市中央区雲井通6-1-5
TEL 078-291-0109 FAX 078-221-2917
総機 兼機 (直営) TEL 078-291-0701
www.kobe-i.tokyuhotels.co.jp
E-mail: kobe-i.han@tokyuhotels.co.jp

**高十三回生
女子有志**

東田 雅俊
(高十六回生)

懐かしい笑顔と過ごす
かけがえのない時間

再び出会えた喜びを分かち合う大切なひとときのために・・・。

優雅な空間演出、旬の味わいあふれるお料理、上質のおもてなし。
いつまでも心に残る思い出をウェスティンホテル淡路で。

ご宴会プランお1人様 6,000円から承ります。
※お得なフリードリンクプランもご用意しております。

THE WESTIN
RESORT & CONFERENCE CENTER
AWAJI ISLAND
JAPAN

ウェスティンホテル 淡路
〒656-2306 兵庫県淡路市夢舞台2番地 TEL 0799-74-1111(代表) FAX 0799-74-1100 http://www.westin-awaji.com